

大屋式

坪刈試験用粉摺機取り扱い説明書

(25M型)



合名会社 大屋丹藏製作所

事務所 : 〒452 - 0055 愛知県清須市西枇杷島町北二ツ杵74番地
TEL (052) 501-1867 FAX (052) 501-1877
工場 : 〒452 - 0064 愛知県清須市西枇杷島町旭2丁目73番地
TEL (052) 501-2821
URL : <http://www.ohyatanzo.com>
e-mail ohya@drive.ocn.jp

本機の特長

唐箕付きの為、籾殻と玄米が分かれて出てきます。

作業は1人でも容易にできます。

1度擦りで約80%の脱稈率で、2度擦りで残りの20%を脱稈します。

左右のゴムロールの回転比率を変える事により無駄なく籾摺作業ができます。

無段変速装置付きの為、唐箕風力を微調整できます。

安全上のご注意

火災、怪我などの事故を未然に防ぐ為、ご使用前に必ずこの取り扱い説明書を全て熟読し、本機の知識、安全の情報等を習熟してから、本書に従って正しく使用して下さい。



危険

取り扱いを誤った場合に、危険な状況がおこりえて、死亡又は重症を受ける可能性が想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、危険な状況がおこりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び部分的損傷だけの発生が想定される場合。

危険

本機への注油、点検、補修作業等をされる時は、必ずメインスイッチをOFFにして電源コードを抜いてから行って下さい。

本機へ資料を投入する際は手を巻き込まれない様、十分注意して作業して下さい。

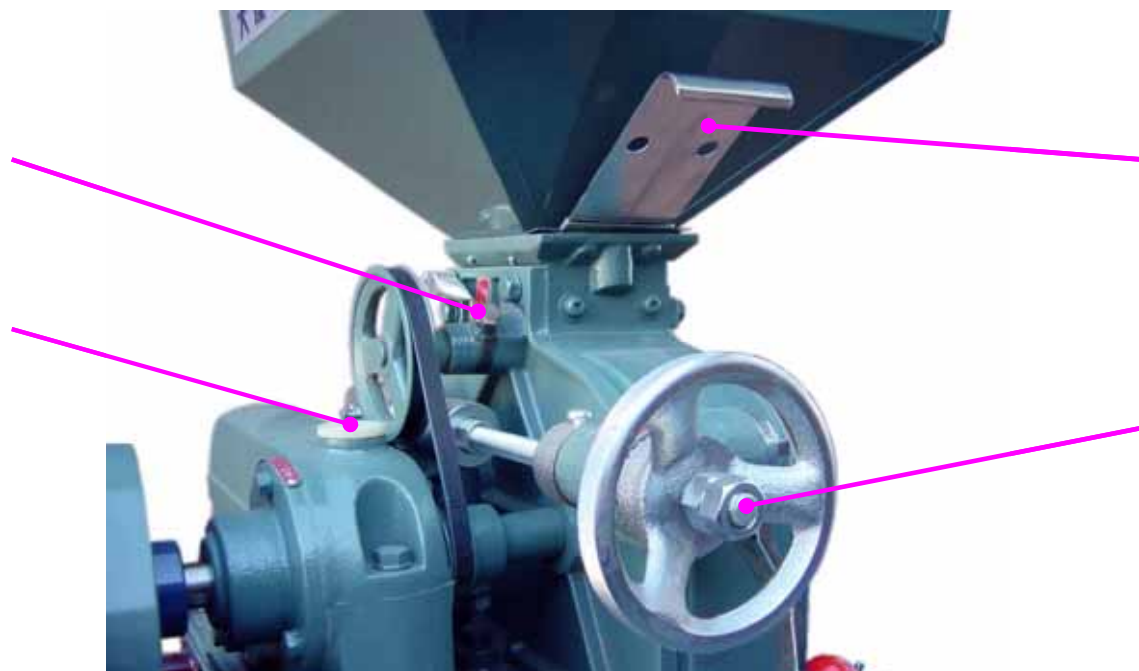
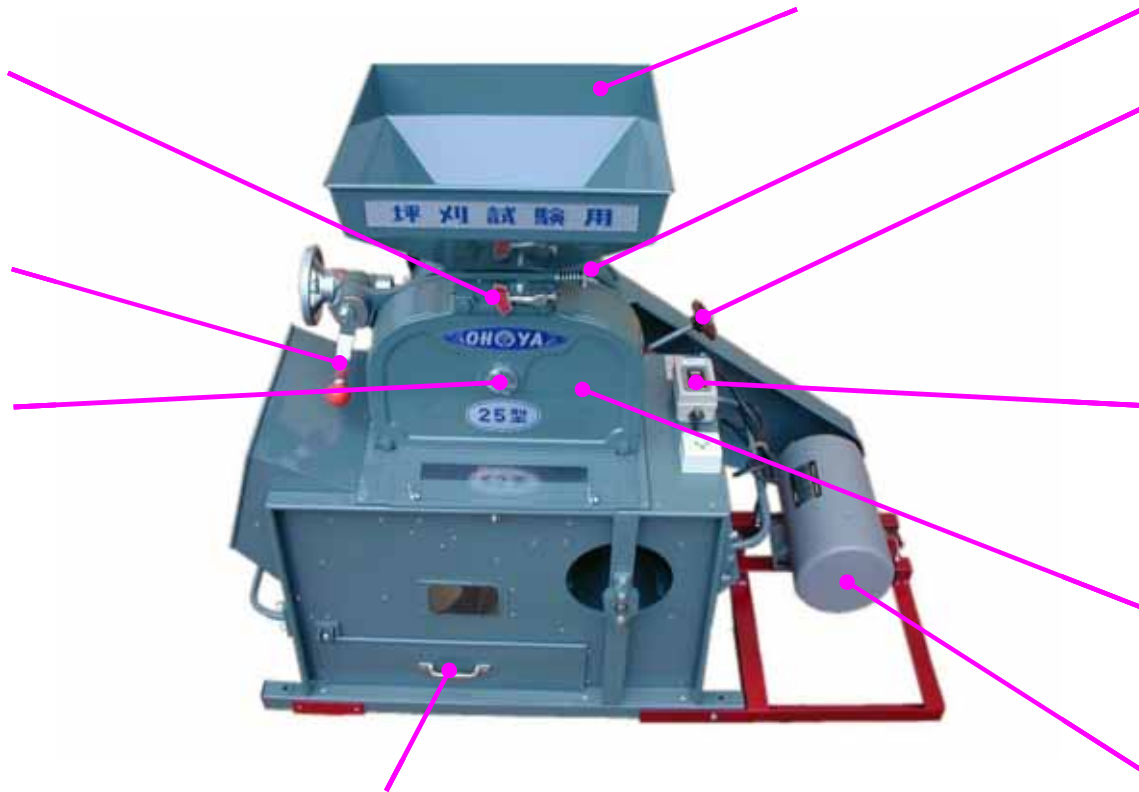
ベルトカバー等は必ず装着した状態で作業して下さい。

注意

お客様による本機の改造は、当社の保証範囲外ですので、責任は負いません。

本機は突起した部分がある為、十分に注意して下さい。

各部名称



仕様書	
形式	25M型 (25MC)
全長×全幅×全高	960×530×850 (1.030×535×970)
ゴムロール	152、89mm(統合小25型)
ゴムロール標準間隔	0.8mm
ロール間隔調節ハンドル 1回転につき	1.2mm
ゴムロール回転比	100:76.9(23.1%)
重量	72kg (84Kg)
Vベルト	50Hz/60Hz兼用 M-17×1本(搔込) A-65×2本(モーター) / A-36×1本(唐箕)

各部名称

	名称	説明
	資料粉投入ホッパー	脱穀及び乾燥した資料粉を1点ずつ入れて下さい。
	粉流向板調節ハンドル	粉の流れる角度を調節するハンドルです。このハンドルで調節はできますが、基本はメモリの3~4に合わせてください。
	粉流向板メモリ	このメモリがズレると角度が変わり、粉がゴムロールで詰まる原因になりますので注意して下さい。
	粉落ち口シャッター	このシャッターで粉の流量を調節します。シーズン終了後には閉めて下さい。
	ゴムロール	ゴムロールの間隔は0.5~0.8mmです。資料の大小に応じて調節して下さい。
	ゴムロール間隔調節ハンドル	このハンドルは右に回すと、ゴムロール間隔は狭くなり、左に回すと広がります。
	ゴムロール覗き蓋	ゴムロール間隔を調節する時に蓋を取り確認して下さい。
	ゴムロール緊急開閉レバー	このレバーを上上げるとゴムロール間隔は急速に広がります。
	唐箕風力調節ハンドル	このハンドルを右(時計回り)に回すと、唐箕風力は上がり左に回すと下がります。
	メインスイッチ	本機メインスイッチです。
	資料受箱	この箱はしっかりロックして下さい。
	オイル注油口	非常に粘度の高いグリスを使用しています。オイルの補充及び交換は必要ありませんので他のオイルは絶対に入れないで下さい。
	注油カップ	毎日必ず一滴ずつ、エンジンオイル等を注油して下さい。
	モーター	本体が運送会社にて発送された物については、モーター類は取り付いていませんので、お客様によって組み立てて頂く事になります。

作業手順

- 最初に のカップに注油(には絶対入れない事)して下さい。そして、番外資料等を用いて、ゴムロール間隔、唐箕風力等の調節をして下さい。
- のシャッターを少しづつ開けて下さい。
- 最初の資料が終了したら、もう一度ゴムロール間隔等の調節をする事をお勧めします。
- の受箱に入った資料の中に、剥けていない資料、及び粉殻の混入がある場合はのシャッターを閉めて、再投入して下さい。この時、資料の乾燥状態が悪いと肌ずれ、及び胴割れ等が発生する事があります。

注意事項

ベルトカバーを外すと、中に唐箕変速プーリー(矢印部分)がありますので、その部分(バネ部分)には週に一度の注油をお勧めします。尚、この部分が錆びついたり変形すると唐箕変速装置としての能力は失われますので注意して下さい。



一度にシャッターを開けると粉がゴムロールで詰まってしまうます。もし詰まったら、すぐに本機を停止し、シャッターを閉めて のレバーを上にして、詰まった粉を下に

外受けタイプ(25MO)各部名称



	名称	説明
	資料出口	資料はここから出てきます。受箱は付属していませんのでお客様の方で用意して下さい。寸法は下から、19cmです。
	モーター	通常タイプと違い、モーターは当社にて取り付けてあります。尚、ベルトカバーやVベルトも取り付けていますので、お客様が組み立てる必要はありません。
	テンションプーリー	Vベルトが緩んできたら、このテンションプーリーを動かして、ベルトを緊張させて下さい。

外受けタイプの特長

通常タイプは引き出し式で、資料の取り出しに若干ではあるが時間ロスがあり、又、資料1点ずつ引き出しを抜き、別の箱に入れ替える作業が更に、時間が掛かる為、通常タイプに外受け用のキャスター台、資料出口を取り付け、引き出しを無くす事により、時間ロスを解消でき、点数も多くできます。尚、資料受箱は、お客様の都合の良い物を使用して下さい。

キャスターは標準装備で付いていますので、移動に便利です。

テンションプーリーがついており、Vベルトを緊張させる際に、モーターを動かす事無く、ベルトを緊張させる事ができます。

仕様書	
形式	25MO型
全長×全幅×全高	670×535×1195
重量	85kg
Vベルト	50Hz M-17×1本(搔込) A-65×2本(モーター) / A-36×1本(唐箕)
	60Hz M-17×1本(搔込) A-64×2本(モーター) / A-36×1本(唐箕)

